

……每遇往女眞達鞏、取要物色、抽發兵馬、卽用此牌信、帶在腰間左邊走馬、其二國驗認爲信』(以上遼史拾遺に據り商務印書館覆明刊說郛所收本を以て校訂)と云へり、彼のアルメニアのハイトン王 King Haiton の弟センパルド Senpard の第四代蒙哥汗の庭に到るや金の paizah を送られしと見ゆ、paizah は牌子の對音にして現今尙ほ bai なる形を以て蒙古語中に存すといふ、而してこれやかてマルコポロの所謂 plate of authority なるものと同一のものならざる可からず、ポロの記する所によれば『此物は臣下の勳功に對して可汗より贈與するものにして、金の兩種あり、百人の長には銀、千人の長には獅子の頭を付せる金の牌 (plate) を與ふ』と、思ふに彼の記せる金牌、銀牌は元史に散見せる金符、銀符にして獅子の頭を付せる牌といふものは支那史料に之を認むる能はず、或はその虎符ならんか元史兵志に『萬戸、千戸、百戸、分上中下、萬戸佩金虎符、符趺爲伏虎形、首爲明珠、而有三珠二珠一珠之別』と記せり、此等の符は既に太祖成吉思汗の時より孫威等以下の將士に給ひしこと屢々記載せらる、されは牌割なるものは決して驛傳の制の完備せし後蒙古に行はれしものに非ずして、夙やく成吉思汗の時代より之を用ゐ、以て將士の勳功を旌はし其特權を認めたるものなり、而して此牌にはマルコポロに従かへは汗の德を稱賛し其命令に従はざるものと誅戮せらるべきを記せりと、一八四六年エニモイ州に發見せられたる銀符表面の蒙古語もシウミット Schmidt の説く處に従かへは同様の意味を表はせるものにして即ち *By the strength of the eternal heaven; may the name of the Khagan be holy! who pays him not reverence is to be slain, and must die!* (ユール、マルコポロ、一卷二五三頁)と、之を蒙韃備錄に徵するに曰く『所佩金牌、第一等貴臣帶兩虎相向、曰虎鬪金牌、用漢字、曰天賜成吉思皇帝聖旨、當便宜行事、其次素金牌、曰天賜成吉思皇帝聖旨疾、又其次乃銀牌、